

第 2 回

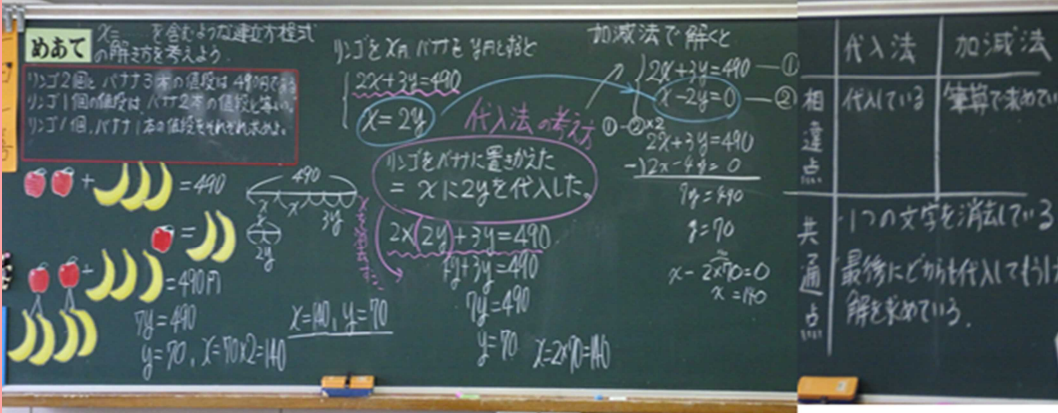
授業づくり講座 授業研究会

香美市立鏡野中学校

第 2 学年「二元一次方程式」

授業者：滝石 貴子 教諭

立式させる手立てとして、問題の場面を変えずに問題文の構造の変化を捉えさせる指導を単元を通して行ってきました。従来の教科書内容にある計算方法・練習問題といった授業展開を転換し、連立方程式の加減法と代入法の解き方について、考察し表現することで、既習の一次方程式に帰着させる共通点を見だし、意味理解を図る授業を目指しました。



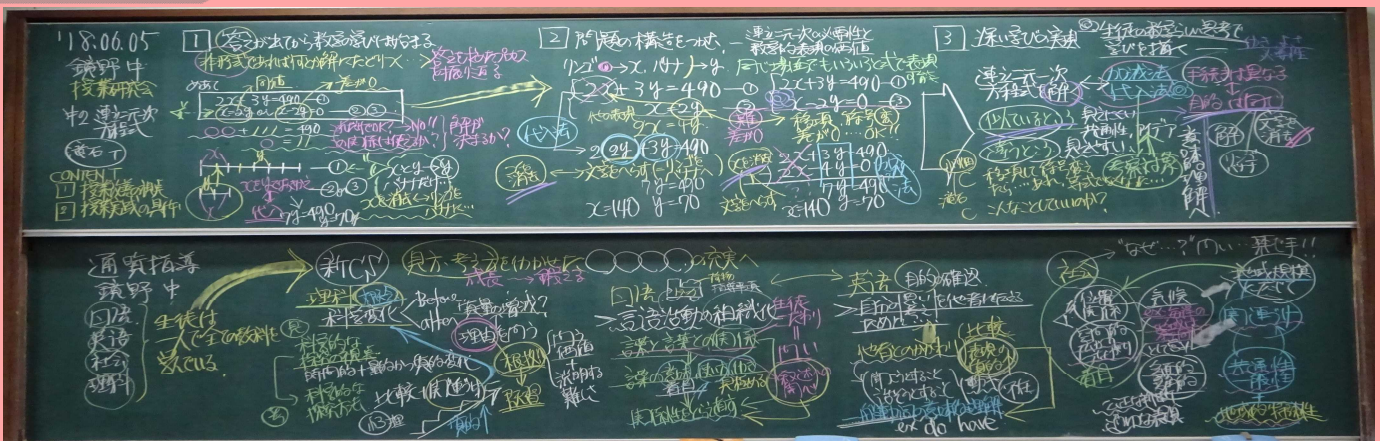
論点を絞った授業研究協議

教材研究会の学びを経て、本授業に向けて単元を通して実践したことなど、各校の授業実践を共有しました。資質・能力ベースの授業づくりについて、香美市の数学科全教員を含む 8 校の教員が学びの事実から授業を振り返り、要因や改善策を考え協議しました。研修に自分事として参加する姿が見られました。

資質・能力ベースの授業づくりとは

- ①答えが出てから数学の学びは始まる
 - ②問題の構造をつかむ
 - ③深い学びの実現
- の授業改善の視点から、指導助言いただきました。

総括専門官板書



◆参観者より

- ・生徒ファーストという言葉が胸にさりました。自己中心的な教科指導をしてしまったり、間違った方向に指導しないよう気持ちを改めて教材研究に取り組みます。
- ・生徒の自然な思考を大切に、つぶやきを拾い、文脈のある授業づくりを行いたいです。
- ・本時の学習において、既習事項とどうつなげていくのかや、加減法と代入法を統合的に捉えられる授業構成のあり方など大変多くのことを学びました。
- ・見方・考え方を各教科でしっかりと見直して、授業で何を生徒に学ばすか考える必要性を再確認しました。
- ・鏡野中学校数学科の課題に対して、単元を通して生徒に必要な力を付けさせるために取り組んできたことや生徒の姿など具体的に考えられていて参考になりました。

次回の鏡野中学校での講座は、**8月16日(木)午後です!**ぜひご参加ください。